

# 1. 保育の計画（R3年度）

## 評価・反省

- ・自分一人ではなく補佐の先生方から沢山のアドバイスや提案を頂き、子ども達の発達に合ったもの、好奇心をくすぐる物などの活動が出来た。活動後も反省を出し合い、次につなげることが出来た。また、うめ組ならではの柔軟な保育が出来たごセットと思う。
- ・子ども達の姿、遊びを見て新しくお医者さんごっこ作ったり、より遊びを深めて友だち同士の関わりにも繋がるような環境作りを心掛けた。
- ・初めての事や不安なことをフリーの先生や同学年の先生に相談し、最善の保育が出来る様努めた。
- ・幼稚園教育要領を意識して、活動内容を考えていなかった。学年での話し合いはよくできていると思う。
- ・学年間の話し合いは行っていたが、伝わり方が不十分な時（お互いの理解に差があるとき）があった。
- ・年間、学期の指導計画は見直しを行うことは出来ていた。子どもが自ら遊びを展開していくことが出来る様、廃材などを教室に配置するなどの工夫が必要であった。
- ・クラスの環境（特に自由遊び時）をもう少し変えてみるなど、工夫出来たらよかった。素材なども置いてスペースごと遊べるようにしたら、もっと遊び込めたのではないか。自身で素材研究をし、子どもの現状に合ったものを置いていきたい。
- ・行事や園外保育等は計画的に様々な活動を取り入れられたと思うが、カリキュラムの項目の一つ一つのねらいに、あまり目を向けられていなかったと思う。
- ・毎週の週案を作成する際、カリキュラムと現在の子どもの姿を照らし合わせ、計画し保育を行うことが出来た。室内遊びの際、決まった遊びばかり行う子どもの姿も見られた為、新しい遊びを展開していきたくなるような環境構成をするべきだった。
- ・園の遊びが充実するよう常に考え、戸外でも室内でも子ども達が充実感を得られるよう設定した。日常で出る廃材を集めたが、そのプラスチック類の多さにびっくり。園でも「リユースBOX」を作ったらいいと思った。

### （お助けマン）

- ・計画を立てていても、子どもの状況により計画が変更することもあった。その時に合った最善の計画を、再度立て直して行うことが出来た。
- ・園の教育理念は十分理解しているとまでは言い難い。
- ・カリキュラム作りや指導計画には直接関わらないが、計画書には十分目を通し担任からはそのねらいを聞き、保育のねらいが達成できるよう補助に努めた。
- ・登園を渋って園に来た子が楽しい雰囲気の中で安心して遊ぶことが出来る様、素材を用意し気持ちが切り替わるような環境を用意した。
- ・預かり保育の部屋が「うめ組（満三歳児）」の部屋になり、環境構成が難しかった。
- ・新任の保育者のクラスという事もあり、一つ一つ丁寧に保育の事だけではなく次の日の環境構成や壁面、作品、季節の行事や日本の伝統的な風習にも目を向けられるように伝えた。
- ・クラスの先生とカリキュラムや保育計画を立てるときは、その時の子ども達の様子や年齢を意識しながら話合うことが出来た。室内遊びでは、時期に合わせて子ども達が興味を持てる教材を用意できる時もあったが、もっと取り入れていっても良かったと思った。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・子ども達の遊びが発展するような、飽きることがないような環境の工夫や変化を心掛けたい。
- ・一人ひとりが個性があるように遊びも一人ひとり好みがあり、全員が安心感を持って遊べていたかと振り返ると個人差はあったように思う。来年度はもっと広い視野を持ち展開していけたらと思う。
- ・自分なりに考えた保育（声掛けや、遊びの展開）を実際にやってみて分かった反省点や「こうすればもっと楽しめた」という発見を生かして保育をしていく。
- ・幼稚園教育要領を再度読み返し、今の子ども達に伸びてほしいところを考え活動を考えたい。
- ・時間にゆとりを持ち、密に話しあい連携していく。
- ・今一度幼稚園教育要領を把握し直し、保育に取り入れていくところ出来る様にする。  
子どもが園生活にマンネリ化を感じることがないように教室の物の配置や教材を子どもの姿に合わせて、整えていきたい。
- ・遊具で育まれる力、一つひとつ教材をもっと詳しく知りたいと思う。素材や教材については使ったことのないものを活用していきたい。
- ・一つの玩具や物に対し、使い方や遊び方は一つではないことを知り、自ら遊びを発展させて行くことの出来る様、実際にやってみせたりイラストや写真を使ったりするなど、環境構成を工夫していきたい。
- ・雨天の室内遊びでは物づくり&ゲーム・構成遊びの充実、戸外での遊び（集団・個別）の充実に努めたい。自然を生かしたゲーム（ネイチャーゲーム）をたくさん取り入れたい。トイレットペーパーの芯を入れる ReuseBoxなどを各階に設置したり  
ヨーグルト・ゼリーの容器も遊びに活用していきたい。

### （お助けマン）

- ・教育理念や指導計画・環境を再度見直し、年齢に合ったカリキュラムを立て直して保育を実践していきたい。
- ・常日頃より教育理念に目を通したり、説明できるようにしたい。
- ・引き続き教育理念が子どもに浸透していくよう実践していく。
- ・引き続き色々な素材を用意し、遊び込める環境を作っていきたい。
- ・初めて預かり保育を経験す子ども達が、楽しい雰囲気の中で安心して過ごせるようにしていきたい。
- ・保育に関することを伝えて、その後の確認やフォローが甘かったのかと反省した。自分は「伝えた」と思っている、受け取る側が理解をしていなければ意味がない為、来年度は今年度以上に寄り添い、共に考えられるようにしたい。
- ・室内や戸外での自由遊びの中で、その時々子ども達の興味のあることを子どもたち自身が主体的に取り組みたくなるように工夫しながら取り入れていきたい。

## 2. 保育の有り方・子どもへの対応 (R3)

### 評価・反省

- ・子どもの気持ちを受け止め認めること、行動の背景を考える事を意識して保育することが出来たと思う。
- ・子どもの特性はしっかりと理解した上で、保育を行うことが出来た。
- ・子ども一人ひとりに目を向け気持ちに寄り添い、信頼関係を築くことが出来た。
- ・子どもの理解・指導者の在り方が全てBだった為、Aになるようにする。
- ・支援の必要な子に対しての声掛け・対応が難しかった。いつもよりも他の学年との交流が多く、戸外遊び等で一緒に遊ぶ姿が見られ、仲が深まっていると思った。
- ・園内の危険な場所・物・遊び方を把握出来ず不十分だった。指導計画外でも、異年齢の交流があっても良かったと思う。
- ・今年もコロナ禍であったため、子どもの健康面等意識することが出来、体調の変化等自分なりに気が付くことが出来たと思う。保育士同士、情報共有をより多くしていけるよう意識したい
- ・一人ひとりの縦の成長に目を向け、必要な言葉かけや支援を自分なりに出来たと思う。
- ・保育者の見ていないところで怪我やトラブルが起こることが、何度かあった。常に誰がどこで何をしているのかを把握できるよう、より視野を広げて見守っていききたいと思う。
- ・園児の怪我が相次ぎ、自身の危険予測の甘さを感じた。

### (お助けマン)

- ・学年間でも連携が取れていないと感じることがあった。同様に他の学年の事も把握できているのか、疑問に感じることもあった。
- ・概ね配慮や理解など、達成できていると思う。
- ・フリーとして複数のクラスに入ったり職員間での時間も増えた為、個々との関わりがどちらかというところと広く浅くなりがちであった。
- ・コロナ禍という事もあり、細かな子どもの体調変化にも気を配った。
- ・戸外遊びでの怪我が、多かった。
- ・一人ひとりを思いやり、言葉かけや関わりを持つことが出来た。
- ・子どもたち一人ひとりの姿を理解し、子どもたち同士の中でも相手を思いあい認め合える言葉を掛け合えるよう、モデルとなる努力をしている。
- ・職員として、子ども達に安全な環境を提供できるよう、心掛けたい。

### 反省を基に来年度、改善・実行すること

- ・遊びの中で育つということを忘れず、子どもの主体性を大切に保育をしていく。子どもも自分も、見通しを持てるよう心掛けていきたい。
- ・今年度は特に、年少年長の異年齢交流の機会が多く持ててとても良かった。来年度もたくさん交流していきたいと思う。
- ・来年度も継続して子どもに寄り添い、安心感を持って過ごせる雰囲気作りを心掛ける。
- ・より子どもと近くで寄り添い、指導者としてどう見られているのかを意識し、生活していきたい。
- ・研修や他の先生の保育から、支援方法等を学び取り入れていく。
- ・子どもと同じ目線で関わり、寄り添うことは継続していきたい。園内の危険箇所の見直しや

点検は職員で定期的に見て回り、子どもの安全に繋げていきたい。

- ・朝の視診ではマスクの下が見えない為難しいこともあるが、表情や様子等慎重に見ていきたいと思う。クラスの子の心の変化等、保育者間で共有することで、子どもに保育者全員で寄り添ったりできると思うので、細かなことも共有を忘れずしていきたい。
- ・自分のクラス学年だけでなくアンテナを高く張り、一人ひとりの特徴・発達等を知り、保育者同士で情報を共有しながらより良い保育をしていきたい。
- ・常に一人ひとり誰がどこで何をしているかを把握できるよう、視野を広く持って見守ること。又戸外遊び時など広い場所に行く際は、必ず保育者の目の届く所で過ごすよう伝え、保育者自身も全体を見渡すことの出来る位置につき、安全を徹底していきたい。
- ・大きな事故・怪我は予測できる。それを怠った怪我は自身の責任である。2度繰り返さない常に子どもと向き合い子どもの姿を想定し、危険回避に努めていく。環境設定・危険個所の見直しを行い、安全安心な環境を設定する。

### (お助けマン)

- ・打ち合わせだけでなく学年間、他の学年間で見通しを持った関わりが持てるようにする。  
(子どもだけでなく、職員同士で)
- ・各クラスの様子を気かけながら、必要な時に速やかに補助に入れるようにする。
- ・今年度からうめ組(満三歳)ができ、11月から担当になった。そこで子ども達と接する中でうまく言葉にならない気持ちも汲み取って言葉にしてあげることが大切だと感じたので、来年度は発達も理解し、一人ひとりと接していきたい。
- ・事故を誘発しない環境や事故を未然に防ぐことが出来るシステム整備をして、子ども達が安全に過ごせるように心掛けていく。
- ・年長児との関わりの機会は増えたが、年中児との給食交流や活動が少なかった為、来年度はどの学年でも異年齢交流が出来る様にしていきたい。
- ・引き続き一人ひとりの良い所や頑張っているところに気づき、それを言葉に出すことでその子の自己肯定感を上げると同時に、相手の良い所を見つけ合える雰囲気を作っていきたい。
- ・定期的に、園内点検を実施したい。

# 3. 保育者としての能力・良識・適正

(R3年度)

## 評価・反省

- ・二年目となり諸所で慣れが出てきてしまった部分があったが、保育者である前に人として基本的な事を自身に律していく。
- ・今年度は初めて学年トップになり悩むことばかりであったが、周りの色々な先生に助けをもらい、少しずつ一日の過ごし方（反省）保育者間（学年）での話し合いが出来る様になったと思う。
- ・園の職員の一員として意識を持ち、他の先生との関係も深めていくことが出来たように思う。
- ・保育者としての良識と、組織の一員としての在り方はAが多くあった為、Bの部分を改善していきたい。
- ・クラス内の整理整頓が、不十分な時があった。学年を引っ張る立場で有ったがそれがしっかりと出来ていたかと言われると自信がない。
- ・各行事の反省会や準備の話し合いの際に、積極的に意見を言うことが出来ていなかった。
- ・保育者として、自分の言動には常に意識をすることが出来た。特に朝の自由遊びの時、危険なあそびや行為はないか慎重に見守り、怪我の無いようにしたいと思う。
- ・保育者として自覚を持ち自分の仕事だけでなく、気づいたことは積極的に行うよう心掛けた。
- ・保育中は常に子どもの手本となることが出来る様、言動等意識して過ごすことが出来た。子どもの降園後、プライベートになると少し気が緩んでしまうことがあったので、常に保育者として人として手本のような存在になれるよう意識したいと思う。
- ・保育について常に子どもの成長にとって、何が必要でどんな声掛け援助が適切かを考えていた。

## (お助けマン)

- ・保育者として後輩を指導する立場として振舞うよう心掛けたが、足りない部分も多くあった。
- ・保育者として良識ある行動をとっている。
- ・トイレや水回り、廊下や柵等こまめな清掃を心掛けた。給食の配膳時の衛生に特に気を配った。
- ・毎日自分自身の体温チェック、体調管理に努めた。長期の休みには出勤し、普段行き届かない園内の清掃、整頓をし気持ちよく生活出来る様にした。
- ・常に明るく元気で清潔感があるように心掛けている。保育者全員と毎日会話するようしている。
- ・今年度、園内見学に来られる方が多くいた。その際、笑顔で明るく迎えらるようにした。自然と子ども達も見学に来た子に寄り添い、声をかける姿が見られて嬉しかった。
- ・どんな時でも職場では明るく、元気に、楽しそうに、笑顔で、を心掛けている。洗濯機を回す等の細かなやるべきことを忘れてしまうことがある。
- ・場合や状況によって素直に聞き入れる事が出来ないこともあるが、園の発展のためチーム力を大切にしたい。

## (バス乗務員)

- ・担任との連携がとれなくて、保護者様に迷惑をかけるときがあった。
- ・その日のうちに連絡すべきことを忘れて、次の日の報告となってしまった。
- ・誰にでも公平な対応が出来た。
- ・感謝の気持ちを忘れず、公平に誠意をもって対応する。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・後輩も増え指導する立場になる。後輩にも子ども達にも、人として鏡になるということを忘れず、自らの一つひとつの言動に責任を持って保育をしていきたい。
- ・常に相手の気持ちや考えていることを感じて職員間で声を掛け、皆で支え合っていける様に自分が行動をしていきたい。
- ・2年目として1年間経験したことをもとに、保育の質の向上を意識するとともに後輩への心掛け、声掛けも忘れないように頑張りたい。
- ・クラス内の整理整頓が出来ていない事もある為、保育後自分の中で清掃の時間を作り、いつでも過ごしやすい清潔なクラス作りをしていく。
- ・子ども達にとっても見やすい、片づけやすい物の配置になるよう工夫する。自分のことだけで精一杯にならず、周りも気かけながら、心にゆとりを持って保育を行う。
- ・各行事で感じた反省点や改善点などを、発言していきたい。そして後輩がいるという自覚を持ち、指導にも励みたい。
- ・朝の掃除後のお山、オアシス、アスレチックで遊ぶ子どもを見る分担等は時間（9時）になったら終わりではなく、子どもの遊びの様子を見て、職員全員で意識できるようにしたい。引き続きクラスのことなど、園長先生、他のクラス、他の学年の先生と情報共有することを意識していきたい。
- ・「自分に出来ることはないか」を常に心がけ、より周りのことに気づいて職員同士助け合っていきたい。
- ・保育者としてだけでなく、人として手本となれるよう誰が見ていなくとも常に正しい行動が出来る様、心掛けていきたいと思う。又、志都呂幼稚園という組織の一員であることを自覚し、互いに助け合うことができるよう、繋がりを大切にしていきたい。
- ・クラスの清掃や整頓が苦手なので常にファイルしたり、配置換えしたりしてみたが不十分だったと思う。来年度は、断捨離したり物（昔の保育雑誌）が多すぎる点を、改善したい。

## (お助けマン)

- ・後輩を指導する立場としての、態度や行動を見直し実践する。
- ・引き続き、清潔な環境づくりを実践する。
- ・コロナ禍はまだまだ続くと思うので、引き続き体調管理に努めプライベートでも、保育士としての自覚を持った行動をしていきたい。
- ・体力低下しないよう、常に運動していきたい。園内研修をもっとやってほしい。参加したい。
- ・自分が頼まれた仕事をやり切ることが出来ていない。（現時点で、、、）来年度はもう少し計画的に、また他の保育者（フリー同士）協力して園内の事に努められたらと思った。
- ・来年度も引き続き子ども達や保護者の方、職員間でも笑顔を絶やさず明るく関わっていきたい。一つひとつの仕事を、責任をもって忘れないよう丁寧に行っていきたい。

- ・正しいと思った事は意見として、積極的に伝えたいと思う。後輩も多くなり、年長者として見本となれるような行動を心掛けたい。

### (バス乗務員)

- ・担任とのやりとりを口頭で伝えてもらい、メモに書いてもらうようにしていきたい。
- ・報告する事は全てメモしておいて、忘れずに伝えるようにする。
- ・笑顔で、子どもや保護者様と対応したい。
- ・健康管理に注意し、業務に支障のないようにする。

## 4. 保護者への対応（R3年度）

### 評価・反省

- ・送迎で毎日対面するため、その日の様子や気になった事など共有することが出来た。妊婦さんで直接お会いできない保護者様には、毎週末電話するなど一人ひとりに合わせた対応が出来たと思う。
- ・コロナ禍で直接保護者様の方と話す機会が減った分、よりクラスだよりを大切に丁寧に書き活用することが出来たと思う。
- ・保護者様に連絡帳や電話や直接お会いする時に、最近の様子を伝えたり家庭での様子を伺ったりして情報共有するとともに、信頼関係を築いていけるよう努力することが出来た。
- ・保護者様の方と連絡を取る機会が増え、信頼関係が深まってきていると感じることが多くなってきたが、友達のような話し方をすることがあるので、気を付けたい。
- ・保護者様と電話等で連絡するさいには要件にプラスして、その日の出来事や素晴らしかった点をお伝えし、園での様子を知って頂けるよう心掛けた。
- ・怪我をしてしまった時や、欠席の際に電話でのご連絡は出来ていたが、子ども達の頑張ったことや成長ももっとお伝えした方がよかった。
- ・自分なりに子どもの様子等伝えることを心掛けた。クラスだよりで素直に自分の想いを書き伝えることが出来た。
- ・保護者様と「共有しておきたい」と思うエピソード、情報をすべて忘れないように伝えなければならないことも、園長先生に相談したうえでお伝えすることが出来た。
- ・保護者様がよく来園する子、連絡帳を書いてくれる保護者様とは、子どもの様子を伝えあうことが出来た。他の保護者様とはあまり伝えあうことが出来なかった。特定の保護者様だけでなく、全保護者様と密に関わっていくことが出来なかった点が反省である。
- ・コロナ禍で保護者様との関わりが少なかったが、成長や様子は連絡帳にて伝える様務めた。

### （お助けマン）

- ・大切なお子様の命をお預かりしているという思いを、常に念頭に置き対応した。
- ・直接保護者様と関わる事は少なかったが、担任や伝達ノートから個々の家庭の様子の把握に努めた。
- ・子どもの様子や成長を細かな事でもお迎えに来た際に保護者様に伝え、信頼関係に努めた。
- ・個々の子どもの様子をお伝えする時は言葉を十分に気を付けて、会話するようにした。
- ・フリーになっても保護者様の方から声をかけて頂けることが嬉しく、また同時に自分も子ども達の様子を積極的にお伝えしようと努力した。
- ・うめ組では毎日保護者様とお会い出来る機会があったため、大切な伝達事項だけでなく、ちょっとした子どもの様子等についても直接お話することが出来た。また、その内容をクラスの先生や園長先生と共有することが出来た。
- ・事務職として保護者様の困りごとや相談事に、親切、丁寧な対応を心掛けている。



## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・一人ひとりの保護者様に合った対応を心掛け、細かく連絡を取り合い情報共有し、信頼関係を築いていく。
- ・これからも愛情をこめてクラスだよりを書き、少しでも子ども達の園での姿が保護者様に伝わるように努力したい。
- ・小さな擦り傷でも保護者様に、事情、経緯を伝えていくことを忘れない。
- ・保護者様はこの園を選んで来て頂いているという事を忘れず、丁寧な話し方で会話する。
- ・より一層保護者様と密に関わり、信頼関係を築いていく。保護者様支援にも力を入れていく。
- ・電話やクラスだよりをより活用し、園での子ども達の様子を保護者様にお伝えしていきたい。
- ・園外保育のクラスの様子等、クラスだよりでもっと知らせていきたいと思う。
- ・子どもの園での様子が気になる保護者様も多いと思うので、積極的にエピソードを共有していきたい。
- ・連絡帳、クラスだより等をより活用し、子どもの様子が保護者様に十分伝わるよう真摯に対応していきたい。
- ・参観などがない分動画配信やクラスだよりの活用で、子供の成長を家庭に届けたい。

### (お助けマン)

- ・上記の思いを常に頭におき、子どもの安全に配慮しながらも、子どもの成長を共に感じあえるよう、保護者様との連携を密にしていきたい。
- ・園行事や送迎の際なるべく声をかけ保護者様の顔を覚え、信頼関係を築いていく。
- ・引き続き子どもの様子など保護者様に伝えることに努め、安心して幼稚園に預けてもらえるようにする。
- ・保護者様の話をよく聞くようにする。
- ・自分のクラスに入っている子ども達の事だけでなく園全体に目を向け、他の学年、他のクラスの子どもの様子を目にし、保護者様にお伝えしていきたいと思う。
- ・うめ組以外の学年になって保護者様と顔を合わせる機会が減ってしまっても、送迎等でお会いしたらいつでも子どものエピソードを話せる様に、子ども達の様子をよく見たり、担任に伝えられるようにしていきたい。
- ・引き続き明るく、笑顔で接したい。

## 5. 地域の自然や社会との関わり

(R3年度)

### 評価・反省

- ・うめ組に興味を持って下さる方が多く、クラスの様子を見て頂いたり、声をかけて下さったりすることがあり、子どもの姿や満三クラスの魅力を伝えられたと思う。
- ・園の細かな所は、まだ自分の受け答えに自信が持てないと感じる。
- ・園の方針を、言葉にして分かりやすく伝えることが難しい。
- ・すすく教室等で来園された方には、明るく笑顔で対応するように心掛けた。しかし事前に伝えていただいていた名前がすぐに出てこない時があり、把握が不十分であった。
- ・園見学の方に対しての対応として、自信を持って園についての説明をすることが出来る様にする必要がある。
- ・以前に比べ問い合わせに答えることが出来る様になった。しかし考えてしまったり、他の先生に聞くこともあった。すすくで回ごとに内容を変えることがとても良いのではないかと思う。
- ・来園者の方に明るく挨拶、声掛けを心掛けた。問い合わせに対しては、自信がない部分もある。
- ・電話での園に対する問い合わせに対し、自信がなく的確に伝えられないことがあった。園に対する問い合わせ、質問には自信を持ち答えられるようにする。
- ・見学者の方に積極的に声をかけ、よりよく園の雰囲気を感じてもらえるよう努めた。

### (お助けマン)

- ・フリーとして園のことに関わるが多かったが、理解しきれていない部分が多かった。
- ・地域の方々には挨拶をしたりコミュニケーションをとって、園に対してもより理解を深めていただけるよう努力している。
- ・見学者や問い合わせの電話にも的確な対応が出来る様、大切な情報についてはメモして携帯するようにした。
- ・すすく教室で来園された方には、丁寧な対応を心掛けた。
- ・地域の方々や来園者の方など、挨拶を交わしていい雰囲気作りに努めることが出来た。
- ・未就園の方からの問い合わせでは、すすく教室をご案内することが出来た。HP等についても伝えることが出来た。
- ・電話での問い合わせではすぐに対応できることもあるが、他の学年の内容や見学者の方からの質問に対して、確認してからでないと答えられない時がある。
- ・地域の方々あつての志都呂幼稚園で有ることを忘れず、感謝の気持ちをもって関わ合うことを心掛けた。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・自分自身も園の魅力となるように努めていくことと、園の魅力を発信していく工夫をしたい。
- ・自分が今まで受け持ったことのない学年（うめ組・フリー）については知識がほとんどない為、分らないことはわからないままにせずその都度質問し、引き出しを増やしていきたい。
- ・すすく教室や園見学で自分から声をかけ、園の魅力を伝えられるように頑張りたい。
- ・入園のしおりなどの書類を再度読み返し、分らないままにしないようにする。
- ・誰がどの日に来園されるかを、正確に把握する。すすく教室では、「また来たい」と思ってもらえるような出し物を企画する。
- ・自分自身が見学の方に質問された際に、的確に自信を持ってお伝えすることが出来る様園の概要を確認し頭に入れる。
- ・正確にすぐ答えることが出来るよう、知識等頭に入れておきたい。
- ・分らないことは正直に聞く！一度対応したことに関してはどう答えたのかメモして都度聞かなくてもいいようにする。
- ・園の事に対し一度振り返り、自信がないものがあれば聞き的確にこたえられるようにする。地域の方々と挨拶だけでなく会話を楽しみ、より地域全体で子ども達を見守っていく環境を整えられるようにしたい。
- ・4月当初よりすすく教室の掲示の依頼に回り、地域にもっと志都呂幼稚園を知ってもらいたい。

### （お助けマン）

- ・今年度のフリーの経験を基に、園のことを把握できるよう分らない事がないようにしていく。
- ・相手の要件を的確に聞き、分らないことは担当者に引き継ぐ事で失礼の無いよう対応する。
- ・園に対する問い合わせ質問にはメモをとり、すぐに返信できないものには園長先生に確認して、的確に答えることが出来る様に務めたい。
- ・地域の自然を感じられるよう、園外保育等で散歩に出掛けたい。
- ・職員室が分からなかったり、門の前に立って分らない様子の方もいらっしゃった為、事前に連絡を頂いている場合は、その時に園に来られた際どうしたらよいか伝えておけば親切だったと反省した。
- ・各学年、毎日様々な行事が有る為、その日にはどの学年でどのような活動があるのかを頭に入れて確認してから一日をスタートさせるようにしたい。
- ・もっと志都呂幼稚園を理解して頂くイベントの周知が出来ると良い。

## 6. 研修と研究(R3年度)

### 評価・反省

- ・うめ組スタートを担当する責任と自覚を持ち、次につながるよう常に学ぶ姿勢を持っていたと思う。しかし気づいてから学ぶことが多く、もっと事前に自分の引き出しとして知識を入れておけばよかったと思うことがあった。
- ・研修に向かう機会が減った分、研修報告を聞いて学ぶことが多かった。職員間で知識や学びを共有することが出来、良かったと思う。
- ・研修を受けているときに、自分の保育やクラスの子を思い浮かべ振り返ることが出来た。自分の保育をより良いものとする方法を学んだ。
- ・研修で説明していた活動にも積極的に行う事が出来た。保育雑誌も毎月購入している為、新しい情報も入手することが出来た。
- ・研修で学んだことからクラス内の棚の配置を変えたり、言葉がけを実践するよう心掛けた。公開保育があることで、自分の保育を見つめなおすことが出来た。
- ・園としてアレルギーや危機管理、園内研修など研修の機会が多くたくさん事を学び吸収することが出来た。教材の研究や、自ら研修を受ける事は出来なかった。
- ・研修にはあまり参加することが出来なかったが、研修報告を聞くことで、保育に取り入れてみたり実践することが出来た。又公開保育の機会を頂くことが出来、子どもの事をより考える時間が出来有難かった。
- ・研修への参加は少なかったものの、製作物は例年と同じ物にならないよう保育雑誌、又はSNSを参考にし取り入れた。
- ・研修で学んだ事項を保育に取り入れることで、新たな気付きを得たり保育の質を向上させることが出来た。去年と比べ専門書や教材に触れる機会が減ってしまった事は、反省点である。
- ・参加できる研修には、積極的に参加することが出来た。

### (お助けマン)

- ・保育に関わる知識や経験を、自ら知るという行動が少ないように感じた。自ら学ぶ姿勢を持って取り組んでいくべきだと思った。
- ・研修報告があった場合は、その内容を理解しようと努力している。
- ・対外的な研修は中止の場合が多かった。園内研修では、園の実情に則した研修を深めることが出来た。
- ・園内研修は積極的に参加し、AED、アレルギー研修は繰り返し学ぶことでとても勉強になっている。
- ・コロナ禍で研修が少なくなった。オンライン研修での集中力維持が、難しかったり質問もできなかった。
- ・園内研修の機会が少し少なかったが、職員が研修で学んできたことを保育に取り入れようと、努力した。また、保育の専門書などを読んで、幼児理解に努めていきたい。
- ・初めての満三歳クラスという事で、関連した内容の研修に参加させていただく機会が何度かあってよかった。
- ・幼稚園の業務について、経験から適切な行動が身についてきたと思う。よりよくするために、努

力したい。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- ・来年度も広い視野を持ちながら、様々な自柄を掘り下げ学び続けていく姿勢を忘れず保育に努めていきたい。
- ・学んだ成果をなかなか実践に移すことが出来なかった為、来年度は保育で活かせるように心掛けたい。
- ・自分の保育を向上させるとともに他の先生の保育（声掛けの仕方等）を見て、真似していききたい。
- ・園の教材をすべて使う事がまだできない為、活動・製作の際様々な教材を使っていきたい。
- ・より一層保育の知識を深め、よりよい保育に繋げていく。
- ・引き続き研修に対し、真剣に積極的に取り組む。様々な教材を、保育に活用していきたい。
- ・遊具で育まれる力、一つひとつ教材をもっと詳しく知りたいと思う。教材や素材については今までに使ったことのない物を活用していきたい。
- ・園内にある教材を把握して、まだ活用したことのない物を積極的に取り入れる。
- ・研修だけでなく教材やインターネット等を最大限に活用し、より保育の質を向上させることができるように心掛ける。
- ・来年度も同様今年以上に多岐にわたる研修に参加したい。

## （お助けマン）

- ・「自ら学ぶ」という姿勢を持って行動し、自分の行動が後輩保育者の刺激になれるようにしていきたい。
- ・研修で得た内容を、他の職員にも共有してよりよい園にしていきたいと思う。
- ・アレルギー対応や救急法については、繰り返し行う事で常に冷静に対応できるようにする。クラスを超えて、皆で子どもを見ていく姿勢を強化していく。学んだことを忘れず、日常で活かせるように努力していきたい。
- ・オンライン研修に慣れる様にしていきたい。
- ・コロナ禍ではあるが少しずつ研修も増えてきて、来年度は研修に積極的に参加し、よりよい保育が出来る様にしたい。
- ・まだやったことのないエプロンシアターやパネルシアター等有る為、保育のなかに取り入れていくことが出来る様にしたい。
- ・幼稚園の新制度について、理解を深めたい。

## 安全な運転・業務について

### 評価・反省

- ・運転手さんが集中できる様に、もう少し車内で静かに乗れる様にすればよかったと反省しました。半面、楽しく乗車できることも必要と思っています。
- ・バス酔いをして嘔吐していることに気づけなかった。（マスクをしているため）
- ・一年間安全運転で、運行できたと思います。
- ・車両から離れる場合にも、細心の注意をする。

## 反省を基に来年度実行・改善すること

- バスの座席を作る時に、同学年で集中しないようにしようと思います。
- 子ども達の顔をしっかり視診し、声をかける様にする。(マスクを着用していると、特に分かりにくいので)
- 車内安全に努め、安全運転に心掛ける。
- 予測運転を実施、車内、車外の動きに注意し、無理のない運転をする。

# R3年度 学校評価委員会感想

## ◎保育をご覧になって

### ☆こどもの様子

- ・生き生きと楽しく元気に遊んでいた。
- ・元気で人懐こい子たちが多いように感じます。寒い日も、元気いっぱい駆け回る姿が印象的です。
- ・どの子も笑顔が見られ、園生活を楽しく送っていると感じました。
- ・交通教室をやっていて直接様子は見られませんが、すれ違う子の様子はとても落ち着いた感じでした。

### ☆保育者の様子

#### ○挨拶・笑顔・子どもたちに対する接し方

- ・明るく気さくに声をかけてくれた。ニコニコ自然な笑顔。目線を合わせ、しっかり向きあって話をしていただき、子ども達と同じように元気に走り遊びながらも気を配っていた。
- ・園の門をくぐると、どの先生も笑顔で挨拶をしてくれます。子ども達の見線で、優しい口調でお話ししてくださっています。
- ・笑顔と一緒に挨拶があり、感じよかったです。丁寧な話し方をしているなど感じました。

### ☆環境について

#### ○各教室の壁面

- ・季節や日本の伝統行事に沿ったテーマの絵や工作が飾ってあり、POPで明るかった。
- ・季節やイベントに合わせた壁面装飾で可愛らしく飾られていました。(担任の先生の個性も見られ、面白かったです)
- ・教室の壁面の活用状況や整理整頓状況を見て、安全面に配慮されていると思いました。各教室の壁面の掲示物等、各学級の個性(良さ)を感じました。
- ・各教室ごと違って、色もいろいろな色彩でよかったです。

#### ○玄関、廊下など

- ・右側通行が分かるように、真ん中に線が入っていて自然に交通ルールを覚えそうだった。
- ・足跡マークなどで分かりやすく子ども達同士がぶつからないよう(事故が起こらないよう)指導、配慮されているのが分かりました。毎日の生活の中で、自然と交通ルールが身につく様工夫されているのだと感じた。

- ・陽の光が差し込んでいて、明るくて良かったです。さくら園舎の靴箱の上に、ちょっとした雑貨のようなものが置いてあって素敵でした。

## ☆その他感想

- ・普段から先生方の子ども達への愛情を深く感じておりましたが、自治会の方々をはじめ、志都呂幼稚園の子ども達は地域の方々からも温かく見守られているのだなと感じました。貴重な機会にお招きいただきまして、ありがとうございました。
  - ・園長先生中心に職員が一丸となって、保護者や地域に信頼される園を目指してほしいと思います。
  - ・感染症との戦いの中先生も園児も明るくて先生達は園児を見守り、その守られた中でのびのびと園児が過ごしている様子が伝わりました。
  - ・教職員の皆さんには、日々発生する出来事への対応にご苦労されながらも、長い視点で温かく子ども達に接していただいていることに、敬意を表します。
- 幼稚園の時期は、その子の一生を左右しかねない大事な時期です。これに深くかかわる皆さんには、責任と共に大きな誇りを持って頂きたいと思います。皆さんの何気ない言葉や行動が、子ども達に与える影響は、良いこともそうでないことも、思いのほか大きいと思います。

・